

【8月のマーケットコメント】

基準日：2026年8月31日

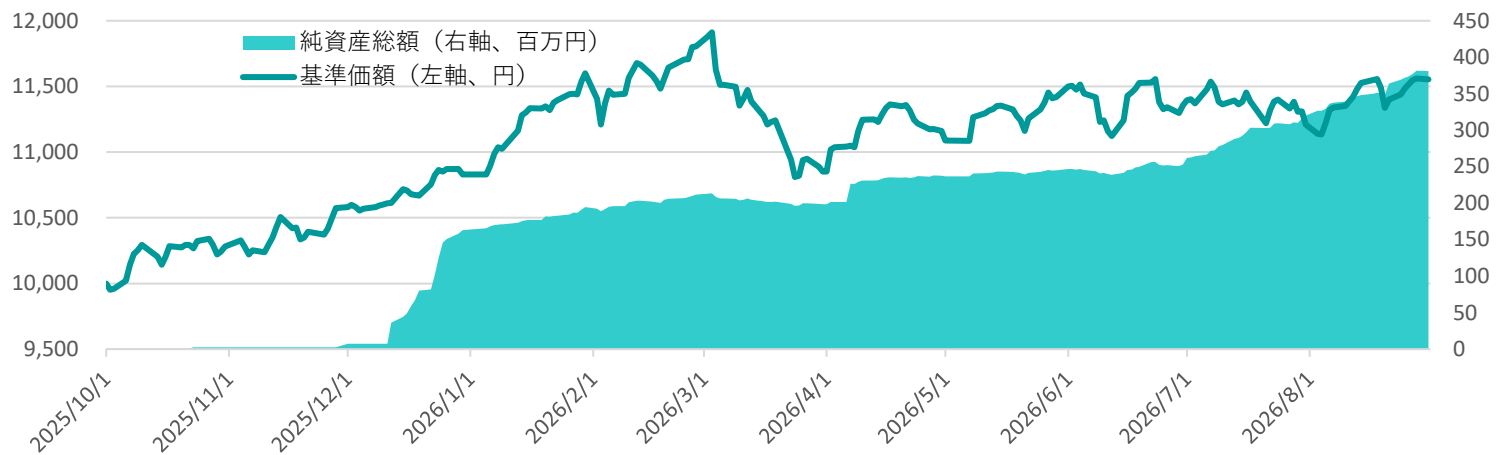
8月前半は、好調な企業業績とAI・半導体への期待、および弱い雇用統計や消費者物価指数が予想を下回ったことを受け、9月のFOMCでの政策金利引き上げが遠のいたとの見方から、株式市場は前月の下落を打ち消すほど堅調な展開となりました。しかし後半に中東情勢の長期化懸念が再燃し、原油価格の上昇、長期金利の上昇により株式市場の上値は重くなりました。

米金利が上昇する中、ベッセント米財務長官が超長期債の買い戻し額を倍増すると発表し、一旦は金利が低下し、特にゴールドの上昇が目立つ場面がありました。注目されていたケビン・ウォーシュFRB議長によるジャクソンホールでのスピーチは、市場の期待に反しタカ派色が強かったことから、9月の政策金利引き上げ予想が再度浮上し、4.75%を上限で抑えられていた10年債金利も、この水準を僅かに超えて月末引けました。この長期金利の上昇は米国に限らず、日本や欧州各国でも数十年ぶりの高水準がみられ、引き続き米国の長期金利の行方が最も注目される材料となると考えます。

このような状況の中、パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドは、8月に入り、キャッシュ比率を大きく減少させ、主にゴールドや米国株式へ資金を振り向けました。現状マーケットは高値圏での保ち合いとなっておりますが、長期金利の上昇次第では短期的に弱含む可能性が高まってきています。一方で企業業績は好調であり、株式は比較的割安な状況との認識から、下がった場合での買いの好機を伺っていきたいと考えております。

(2026年9月1日)

パリミキアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
3.08%	1.18%	-2.13%	6.69%	-	-	(複利年率) (-)	(複利年率) (-)	15.54%
								(複利年率) (-)

ファンド概況

基準価額	11,554円	設定日	2025年10月1日
純資産総額	381百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	-	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.98% 現金等: 0.02% (合計: 100.00%)		

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド

※2025年9月1日設定

【8月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.19%となり、年初来で+7.47%となりました。

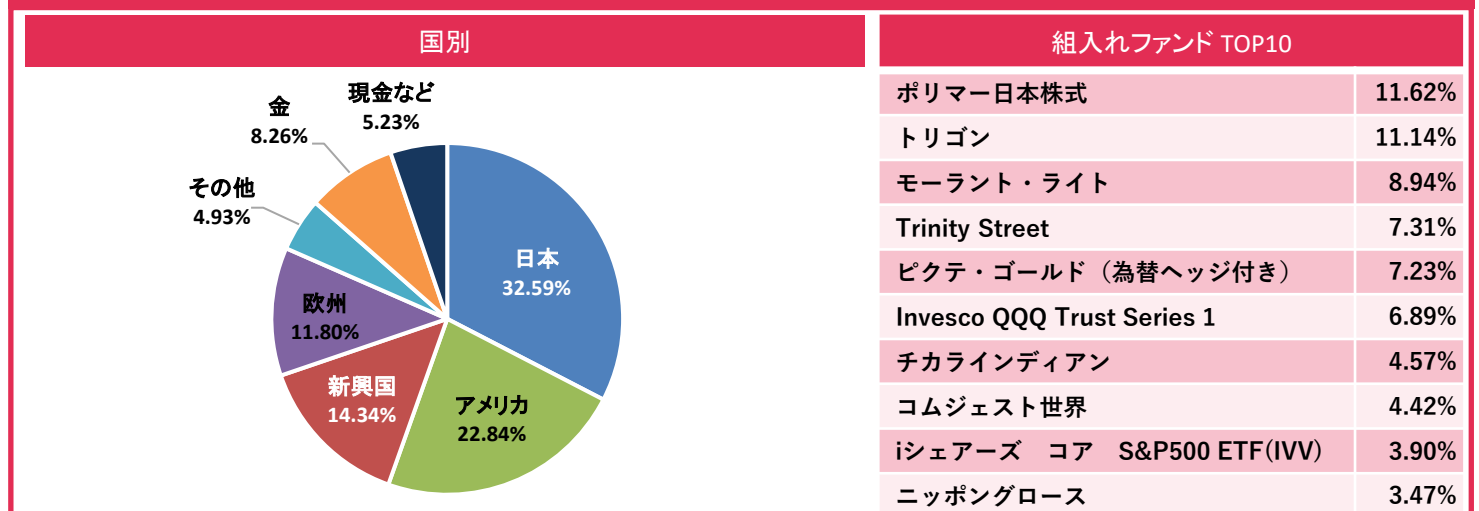
個別ファンドの騰落率については、上昇に寄与したのは、日本株アクティブファンドのポリマー日本株式が騰落率で+5.98%（配当込み）、グローバルなストックピックを行うトリニティ・ストリートが同+7.41%、東欧株式ファンドのトリゴンが同+3.67%、日本株式のモーラントが同+3.37%、金鉱株のコンウェーブ・ゴールドが同+38.47%などでした。下落の影響があったファンドは、ほとんどありませんでした。8月の売買は、ピクテ・ゴールド（為替ヘッジ付）、米国株式ETFなどを購入した一方、モーラントやその他ETFを一部売却しました。キャッシュ比率は約5.23%（前月比▲13.33%）となりました。

為替が、対ドルで約0.7円（▲0.44%）円高、対ユーロでは約0.38円（+0.21%）円安へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.07%引き下げたこととなります。為替ヘッジを実行し、現状の外貨資産リスク（52%）に対する為替ヘッジ率は42%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは30%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	17,146百万円	組入ファンド数	全24本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率



パリミキ・ファミリーオフィス・ファンドにかかわる費用

購入・換金時手数料	申込金額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率*を乗じて得た額とします。購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社にお支払いいただきます。また、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。 *当該手数料率は、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	<u>ありません。</u>
その他の費用・手数料	信託財産で間接的に負担する費用・税金 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等、ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料及び売買委託手数料に対する消費税等に相当する金額の費用は、信託財産から支払われます。
運用管理費用（信託報酬）	年1.10%（税抜1.0%） マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.75±0.5%（税込）程度 ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な信託報酬率（概算値）を算出したものです（2025年7月末現在）。各投資信託証券への投資比率が変動する可能性や投資信託証券の変更の可能性があることから、実質的な料率は変動します。したがって事前に固定の料率、上限額等を表示することはできません。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、親投資信託を通じて株式などに投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はそれら組入株式等の値動きにより変動します。また、外貨建資産に投資する場合、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動により基準価額は変動します。従って、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、全て投資家の皆様に帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社情報

委託会社：株式会社パリミキアセットマネジメント

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2727号

加入協会：一般社団法人 資産運用業協会

販売会社一覧

商号等	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 資産運用業 協会
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○	○		○
広田証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長（金商）第33号	○			
水戸証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○			○
日産証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○	○	○	